



令和元年5月1日

婚姻届を提出されたカップルと栗市長

ごあいさつ

令和元年5月13日

これまでにない10連休のなか、時代は「平成」から「令和」へと変わりました。

5月1日、2日と市役所の市民課窓口は開かせていただきました。特に1日は記念すべき「令和婚」で婚姻届を提出される方々が多いのではないかと思います、1階に設置した特設窓口で午前中は、その様子を見守っていました。

「市長、ご一緒に写真をお願いします」とのリクエストに、気軽に「はい、はい」と、カップルの右に、左に、真ん中にと、ご要望に応じた形で写真に納まっていました。あとから気付いたのですが、どうやら市民課の職員が「市長と一緒に写しませんか」とカップルに小声でささやいていたようで、こりゃ乗せられたかな、とも思いましたが、野々市に好い印象を持つ方、この地を選び住まわれる方がこれだけいらっしゃることをとてもうれしく感じますし、大切な人生の節目の時間を共有できたことをありがたいと思いました。

この日の婚姻届は40件、ご結婚、誠におめでとうございます。末永いお幸せをお祈りいたします。

私事ながら、4月の統一地方選挙におきまして野々市市長選挙、無投票ということでありましたけれども当選させていただくことができました。感謝にたえないことではありますが、これまで以上の責任の重さを感じ、私自身が市民の皆さんの思いを確実に受け止め、そのお声を受け止めているのかということ常を常自問自答しながら、この重責を果たしていかなければならないと考えております。

市の「第一次総合計画」も仕上げの時期を迎えています。これまで進めてきた市の方向性には一定のご理解をいただいていると思いますが、さらにこの方向で市民協働のまちづくり、市民の皆さんが活躍できるような整った環境や、舞台づくりを進めていきたいと思っております。この思いはこれからもずっと持ち続け、がんばっていきます。

カレードやカミーノなどの中央地区整備事業が完成し、これからはそれに伴う「北国街道にぎわい創出プロジェクト」もしっかりと取り組んでいかなければなりません。また、スポーツや健康づくりで皆さんが活躍できる舞台の整備や、老朽化した施設についても、これからの時代に合わせた施設整備が必要です。市民の皆さんがどのようなものを望んでいらっしゃるのかということも含めて、野々市ならではのものを一緒に考えていきたいと思っております。

連休中、市内の施設が気になり回っていました。カレードではいつもと同じように本を読まれ、調べものをされる方々、あらみや公園では暖かい日差しのなか、のんびりと散歩を楽しまれる家族連れの方も見受けられました。

「初春の令月にして気よく風和らぎ一」、文化を育み、自然の美しさを愛でることができる平和に感謝し、さらに住みよいまちづくり、心豊かな人づくりを市民の皆さんと共に進めていきたいと思っております。